

## 令和4年度法人本部事業報告書

### (1) 総括

〔令和4年度事業計画の基本並びに重点方針に係る総括〕

#### ① 衛生管理体制の維持と施設内感染防止について

近隣の殆どの福祉施設がクラスターに苦しむなか、愛泉会では感染症対策委員会を中心とする新型コロナウイルス感染症に対する衛生管理体制が十分機能し、約2年間施設内感染を抑えることができた。

しかしながら、令和5年1月に特別養護老人ホーム情和園の1ユニットで職員1名とご利用者1名に発症が見られ、その後2ヶ月に亘りクラスターの広がりや撲滅の闘いが続いた。今更ながらその感染力の強さと職員個々の体調管理に対する意識の大切さを認識することとなった。

幸い、3月の終息宣言の後には感染の発生を見るに至っていない。今後も4ヶ月に一度程度、研修会を開催し周知徹底を図ることで再発生の防止に努めて参りたい。

#### ② 職員確保対策について

公共職業安定所、インターネット、各種学校、有料職業紹介所、シルバー人材センターなど、凡そ手配できる事業所には遍く求人を行い、また職員を通じた採用努力を行った。新卒採用の内定もあったが、殆どは中途採用となっている。引き続き、社会保険制度の改正に継続して準拠し、法人独自の処遇向上策を講じて労働環境の整備を行い人員確保と定着率の向上に勤しむ必要がある。

#### ③ 利用者受け入れ制限や減少に伴う収益減対策と事業の継続

中核施設である特別養護老人ホーム情和園は、ユニットの休止と併設の短期入所施設について一時受け入れ停止措置を行っていたが、令和4年5月末を以て重度化が進んでいた有料老人ホームいずみとリハビリテーションデイサービスみもぎを閉鎖することに伴い、特養へご利用者の移動をお願いすることとなった。

これにより、特養は90床、ショートステイは8床に復帰し、利用者の受け入れ制限を撤廃した。ご利用者の移動にあたっては、ご本人並びにご家族、関係事業所へ十二分な説明を行い、不安の無いよう万全の体制を取った。

#### ④ 利用者満足度の向上について

コロナ禍によりリアル研修会の参加が制限されることが続いた。提供サービスの質の向上のためには、職員ひとり一人の力量アップ

がなによりであり、5類に移行した情勢を踏まえて今後は研修会への参加率を高めていく必要がある。

#### ⑤ 法人建物や設備の維持について

故障や機能不全を起こす建物及び設備については、早期検知、即断即決で対応してきた。今後も適時適切に対応し、サービスの提供体制に万全を期していく。

### **(2) 令和4年度事業所別の利用状況について**

詳細は、添付別紙「直近3年間の利用人員対比表」参照。全体を俯瞰した分析を併せて記載している。

全体としてコロナ禍と人口減少により、事業運営の厳しさが続いている。積極的な働きかけを行うことで利用者数の増加を図り、地域やご家族、そして愛泉会共々ウィン-ウィンの関係を構築して参りたい。

### **(3) 専門委員会組織とその活動について**

各専門委員会の令和4年度事業報告は添付別紙の通り。

## 直近3年間の事業所別延べ利用人員対比表(令和2～令和4年度)

社会福祉法人愛泉会

事業所名	延べ利用人員 (人)			対前年度比	対前年度比伸び率 (%)
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	増減 (人)	
特別養護老人ホーム	27,696	25,943	30,174	4,231	特養+短期
短期入所	1,191	0	1,526	1,526	22.2%
通所1課(情和園デイ)	8,958	8,996	9,227	231	2.6%
〃 サテライト青春塾	3,886	3,594	3,582	△ 12	-0.3%
2課(ハッピー)	2,669	2,162	1,859	△ 303	-14.0%
3課(みもぞ)	7,291	6,922	1,085	-(2ヶ月稼働)	-
訪問看護	2,363	2,518	1,955	△ 563	-22.4%
居宅介護支援	2,129	2,016	1,523	△ 493	-24.5%
(有料)アットホームいずみ	9,167	8,776	1,352	-(2ヶ月稼働)	-
(合計)	65,350	60,927	52,283	△ 8,644	-14.2%
在宅介護支援センター					
実態把握(まちかど相談所含む)	100	感染予防休止	感染予防休止	-	-
緊急通報(登録者数)	9	7	6	△ 1	-14.3%
お元気コール	89	96	63	△ 33	-34.4%
ハッピーいきいき塾 (回数)	1	感染予防休止	5	5	-
(久保地区) (人数)	19	感染予防休止	39	39	-
(合計)	218	103	113	10	9.7%

## 「分析」

利用者の重度化等により、櫟木情和園で運営していたリハビリテーションデイサービスみもぞ及び併設の住宅型有料老人ホームアットホームいずみは令和4年4月と5月のみ運営し、6月1日を期してご利用者は長室情和園の特別養護老人ホームへ移動となった。併せて、ショートステイサービスが再開され、本格稼働となった。これにより、特別養護老人ホームとショートステイサービスは、ご利用者が対前年比20%を超える大幅な増加となった。

在宅サービスでは、情和園デイサービスセンターは前年に比して2.6%の増と健闘したが、認知症デイハッピー、訪問看護、居宅介護支援事業所はコロナ禍と職員確保困難が加わり、14～24.5%の利用減となった。

地域貢献を目的に、青春塾は令和4年11月から地域の久保地区を対象に「いきいき健康塾」を開始した。これを以て、地域で開催している介護予防教室は、小狭間地区、竹の中地区と合わせて合計3カ所となった。